

競技上・審判上の注意

競技上の注意

1. 本大会は2019年度の公益財団法人日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規程並びに公認審判員規程により競技を運営します。
2. 選手は会場に到着次第、選手受付(2階ロビー)で受付を済ませてください。
3. 選手は試合のコール後、直ちに所定のコートに入ってください。コール後10分を経過してもコートインしない場合は、競技役員長と協議の上、棄権扱いとなりますのでご注意ください。
コートは固定ではなく、空いたコートから順にコールしますので、放送に注意してください。
4. 試合前の練習は1分間とする。
シングルスは対戦相手と、ダブルスはペアと、指定されたコートで同時に行ってください。
5. 試合が連続する場合は、原則として前の試合終了後15分の空き時間を設け、次の試合を行います。
6. シャトルは、検定合格品を使用します。練習用シャトルは各自用意してください。
7. 開会式終了後、直ちに第1試合のコールをしますので、該当選手は速やかにコートインできるよう準備しておいてください。
8. 両エンドにコーチ席を2席配置します。
9. 各種目とも、3位決定戦を行います。
10. 各種目ごとに、競技終了後に3位までの入賞者の表彰を行います。なお、閉会式は行いません。

審判上の注意

1. インプレー中、会場の付属物等にシャトルが触れた場合はフォルトとします。
2. 色つきの着衣を使用する場合は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品〔大会運営規程第23条〕とし、背面には都県名(縦15cm×横30cm程度)を漢字で明示してください。なお、高校生の背面については、関東バドミントン連盟の申合せによる。
3. 競技規則の第9条(サービス)、第13条(フォルト)、第16条(プレーの継続、不品行な振舞い、罰則)については、厳正に判定し、処置します。
4. 第9条の改訂後のサービス高については、サーバーのラケットで打たれる瞬間に、シャトル全体が必ずコート面から1.15m以下でなければならない。
5. 審判員の判定に対して疑問のある場合は当該プレーヤーに限り質問することが認められます。
ただし、抗議あるいは異議にならないよう注意してください。〔大会運営規程第36条〕
6. 主審は神奈川県バドミントン協会審判員が行います。線審は、本部割り当てを除き敗者選手にお願いします。